

2024年12月10日（火）【外為L a b】松田哲

タイトル：【今年（2024年）のクリスマス相場は、リスクが高い可能性】

日本の休日「勤労感謝の日」と米国の休日「サンクス・ギビング・デー（感謝祭）」が終わると、毎年、「クリスマス相場」に突入します。

だから、もう「クリスマス相場」です。

何度も、繰り返し述べていますが、外国為替市場が「クリスマス相場」になると、市場参加者が少なくなり、市場に厚みが無くなるので、市場価格（為替レート）が予想外に動くことが起こり易くなります。

今年（2024年）の「クリスマス相場」は、想定外の値動きになる可能性が高いのではないかと考えています。

+++++

キリスト教国ではない日本の投資家は、海外投資家の「クリスマス休暇に対する想い」が、いまひとつ理解できないのではないのでしょうか？

そのため、本当に「クリスマス相場」などというものが存在するのか、と聞かれることがよくあります。

そうした疑問を抱くのは当然です。

私たちの（日本の）冬休みは、クリスマスが終わった後の年末年始なのでから。

しかし、それでも「クリスマス相場」はあります。

しかも主要外国為替市場を東京、ロンドン、ニューヨークと考えると、3分の2の市場参加者の多くが、クリスマス休暇を取るようになります。

近年の東京市場の影響力が落ちていることを考えると、外国為替市場は、多くの人が思っている以上に、閑散となるのではないかと考えています。

+++++

そして、来年（2025年）の米国次期政権は、トランプ大統領がその中心です。

トランプ大統領が、その政策において、強硬な姿勢を採ることは、想定の範囲内と言えるでしょう。

米国次期政権における重要なポストに関する人事の多くは、すでに発表されています。

そのため、この「クリスマス相場」の時期でも、なんらかの発言で、突然相場を動かすような材料が飛び出す可能性もあり得ます。

薄いマーケットに大きな材料が出て、大量の資金移動が起こると、日頃から巨額の資金を動かしているプロの投資家でさえ、手が出せなくなることも起こり得ます。

12月を休める投資家は、ポジションをスクエア (=ポジション無し) にして、「クリスマス相場」を眺めて過ごし、2025年1月を迎えてから、新たな気持でスタートを切ると良い、と考えています。

++++
++++

(2024年12月10日東京時間13:25記述)